

報告書抄録

ふりがな	くらだににしなかだいせき							
書名	倉谷西中田遺跡							
副書名	一般国道9号(名和淀江道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	XX							
シリーズ名	鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	36							
編著者名	門脇隆志、川部浩司、坂本嘉和、関広尚世、牧本哲雄、山梨千晶							
編集機関	鳥取県埋蔵文化財センター							
所在地	〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1260番地 TEL(0857)27-6711							
発行年月日	2011(平成22)年3月22日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
くらだににしなかだいせき 倉谷西中田遺跡	とっとりけんさいほくぐん 鳥取県西伯郡 だいせんちょうくらだに あざにしなかだ 字西中田1433 ほ か	31371	大山 4-327	35°30'30"	133°31'56"	20100406 ～ 20101202	15,500㎡	一般国道9号 (名和淀江道路)の改築
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
倉谷西中田遺跡	その他	縄文時代	落とし穴	石器・縄文土器				
	集落	弥生時代	竪穴住居跡 掘立柱建物跡	弥生土器、石器、 鉄器				
		古代	竪穴住居跡 掘立柱建物跡 段状遺構 廃棄土坑	土師器、須恵器、 石器、鍛冶関連遺物	焼塩土器			
		中世	掘立柱建物跡 堀 土坑 区画溝	土師質土器、国産 陶磁器、輸入陶磁 器、鍛冶関連遺物、 石器、木製品、金 属器	中世居館			
		近世以降	溝、近世 墓、土坑、 水田跡	陶磁器				
要約	<p>倉谷西中田遺跡は、縄文時代から中世にかけての集落遺跡で、縄文時代では多数の落とし穴が検出された。弥生時代は後期に小規模な集落が形成されている。奈良時代でも掘立柱建物からなる集落が形成されているが、中世になると、大規模な堀に方形に区画された東西約130m、南北90m以上の居館が形成されている。</p> <p>出土遺物には、縄文土器、弥生土器、古代の土師器、須恵器、中世の土師質土器、輸入陶磁器、鉄器、鍛冶関連遺物、石器、古銭、木製品などがある。</p>							

鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書 36

一般国道 9 号(名和淀江道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 X X

鳥取県西伯郡大山町

倉谷西中田遺跡

発 行 2011年 3月22日

編 集 鳥取県埋蔵文化財センター

〒680-0151 鳥取市国府町宮下1260番地

電 話(0857)27-6711

発行者 鳥取県埋蔵文化財センター

印 刷 総合印刷出版株式会社

〒680-0022 鳥取市西町 1丁目 215 番地